

茜 あかねぐも 雲

令和 4年

12月12日(月)

【No. 23】

『三者面談を終えて』

1週間に渡って行われた「三者面談」も、先週で終了しました。これで、3年生ほぼ全員の進路相談を終えることができました。金曜日から、3年生担当の先生全員で、最終確認を終えたみなさんの進路希望をもとに、私立高校推薦受験希望者、併願優遇受験希望者の書類作成に取りかかっています。今週の木曜日、15日から入試相談が解禁となり、書類受付が一斉に始まりますので、それに向けての準備を行っているのです。まずは、みなさんの希望通りに受験資格が得られるように、高校の先生としっかりと相談を行います。相談結果については、分かり次第みなさんに伝えていきます。



さて、「三者面談」では、みなさん自身やお家の人の考えをじっくりと聞くことができました。みんな本当に真剣に自分の進路について考えていて、緊張感のあるとてもいい雰囲気だと感じました。以前からの自分の志望を貫こうとしている人、自分の成績を念頭に置きながら志望を練り直している人、最後の部分でまだ迷っている人…、どの姿も真剣さがヒシヒシと伝わってきます。先生たちもみなさんのそんな思いに応えられるように、3年生担当の7人が一丸となっていろいろと取り組んでいこうと思っています。ぜひ、みなさんも“自分のやるべきこと”を見失わずに、毎日を大切に過ごしていきましょう。よく耳にする話ですが、3年生の最終面談を終えると、何だか一段落したような雰囲気になり、それまでの頑張ってきたペースがガクッと落ちてしまうことがあります。本当に大切なのは、志望校が絞れてきたあとのこれからの毎日の過ごし方なのです。推薦入試までは1か月ちょっと、都立の一般入試を考えると2か月余りの日々が残されています。この一日一日の過ごし方で、結果が決まってくるのです。間近に迫った冬休み、そして3学期に向けて、しっかりと計画を立てて勉強に取り組んでいきましょう。

気づいてみると、中学校生活はあと3か月となりました。(卒業式は令和5年3月17日) いよいよカウントダウンの時期に差しかったのです。来年の春に、悔いを残さず笑顔でひばり中を卒業していくためにも、「**今、頑張らずして、いつ頑張るか!**」を合い言葉に、自分の目標に向かって最後まで頑張っていきましょう!!

◎「これからの時期の指示の聞き逃しや提出物の遅れは、本当に致命傷になりかねんぞ!

基本は“自分のことは自分で進める”…これじゃ。誰かがやってくれるだろう、きっと言ってくれるだろう、という甘い考えは失敗のもとじゃ。気をつけるんじゃぞ!!」

＜今後やっておくべきこと＞

この面談で都立以外の志望校が決定した人は、ネット出願の準備を行いましょう。国立、私立、都立高専などの学校の出願の方法は、その学校独自のものですので中学校から指示することはできません。(㊤ 都立高校の出願方法は、推薦受検・一般受検とも、後日学校で説明を行います) 自分で受験予定の学校の募集要項をよく読んで、必要な書類などもしっかりとチェックしておきましょう。

『自分が選ぶ進路に誇りをもとう！』

ある先生の話です。その人は大学を選ぶとき、教員になるための学校を志望しました。中学校の教員になりたかった彼は、ある大学の「中学校教員養成課程」を志望していました。しかし、本人の努力不足に加え20人という募集人数の少なさもあって、合格ラインまで届きそうにありませんでした。そこでかなり悩んだあげく、定員が多い(130人)同じ大学の「小学校教員養成課程」に、正直言って泣く泣く志望を変更しました。本人としては、進学後中学校の免許取得のために必要な科目を枠外で取り、自分の将来の夢は絶対に実現しようという思いでした。その結果、めでたく合格したその人は、大学生活を送るにつれて受験前には考えもしなかった思いが頭をよぎるのでした。

“「小学校教員養成課程」にしておいてよかった！”

入学して出会った多くの仲間に支えられたということももちろんありますが、学校生活を送るにつれて、入学前にはわからなかったことがいろいろとわかってきたのです。授業の中には、中学校教員を目指していたその人には直接関係ないと思われるものも結構入っていましたが、実はそういう経験が何よりも大事なんだということに改めて気づいたのだそうです。その後、中学校免許も取得して大学を卒業し、念願の中学校の教員になったわけですが、現場にいて改めて自分の送った大学生活の良かった面を実感したそうです。小学校で行った教育実習、ピアノの演奏や調理実習、水泳はちっとも上達しませんでした。が…、ちょっとした場面で学んだことが役に立っています。

あのとき自分の夢をあきらめてしまっていたら、はたまた入学した課程で斜に構えて学校生活を送っていたら、今のその人はなかったと思います。もしかしたら、別の道に進んでいたかもしれません。(まあ、そこで全く違う人生を送って幸せに暮らしていたかもしれません…) ここで考えてほしいことは、“自分が選んだ進路に誇りをもって過ごしていけば、絶対にそこで得るものがあるはずだ”ということです。みなさんはこれから中学校卒業後にそれぞれの進路に進んでいくわけです。自分がどんな道に進むのかまだわかりません。でも、どの道に進んでも、その人の姿勢や考え方次第で、のちに振り返って『最高の進路』にでも、そうではないものにもなり得るのです。『最高の進路』とは「進んだ道」で決まるのではなく、「どう歩んできたか」で決まるのではないのでしょうか。

みなさんの『最高の進路』探しの旅は、まだまだこれからなのです…。

㊤「みんなの卒業前に、もう一度この話をしたいと思うのじゃ…」

予告

12月19日(月)の1校時「学活」の時間に『冬休みの学習計画』を立ててもらいます。受験生にとって、3年生の冬休みは本当に大切です。限りある時間をムダなく有意義に使っていただけるように、細かい計画を立てる必要があります。次の表が配布されますので、きちんと記入できるようにあらかじめ考えておきましょう。

(冬季講習の日程なども調べておきましょう)

令和4年度 第3学年

冬休みの学習計画

3年 組 番 氏名		講習会・勉強会など	
冬休みの目標	自分で独自に取り組む内容 (問題集・通信講座・習題 取り組み方・進め方)	終了予定	講習会の内容
国語	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
数学	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
英語	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
社会	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
理科	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()
	()	()	()

国語長文問題60日完成 (評価表)	1日3ページずつ	1月末	12/28~12/29 1/4~1/7	全部で 8回
(C)			(A) 冬の冬期講習	

④ 図中の欄には、A: (1、2年生の復習用) か、B: (3年生の復習、予習用)、C: (入試対策用) を書き込む。